

[23-5]

農作物のセシウム量低減と土壌改良-農・畜産業の永続的発展に向けて Reduction of Radio Cesium Contamination to Agricultural Products and Soil Improvement for Sustainable Agriculture

学術論文（査読あり）

- [1] 李 沛然・龔 穎婷・菊地賢司・小松崎将一, 福島第一原発事故とチェルノブイリ原発事故後の農耕地における放射性セシウムの挙動に対する耕うんの影響比較. 環境放射能除染学会誌, 2021 (印刷中)

卒業論文

- [1] 近藤陸人, 帰還困難区域の山地溪流に生息するヤマメ・イワナを対象にした NaI (Tl) シンチレーション検出器を用いた Cs-137 濃度の活魚測定方法の開発, 茨城大学理学部理学科卒業論文.
[2] 斉藤智幸, 帰還困難区域の溪畔林から採取した導管水の Cs-137 濃度について, 茨城大学理学部理学科卒業論文.
[3] 戸田貴大, 請戸川流域の土壌における福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウムの分布, 近畿大学工学部化学生命工学科卒業論文.
[4] 井筒達哉, 福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウムの土壌中における分布状況, 近畿大学工学部化学生命工学科卒業論文.
[5] 落部一輝, 河川水中の放射性ストロンチウム分析法の簡略化, 近畿大学工学部化学生命工学科卒業論文.

国内会議

- [1] Li Peiran・Gong Yingting・Komatsuzaki Masakazu, The behavior of radiocesium, in soil under different tillage systems 8 years after the FDNPP accident. 日本農作業学会春季大会, 2021 年 3 月.
[2] 近藤陸人・樽井美香・斉藤智幸・中里亮治・岩瀬 広・加藤健一・佐藤忠明・鈴木仁根, 帰還困難区域の山地溪流に生息するヤマメ・イワナを対象にした NaI (Tl) シンチレーション検出器を用いた Cs-137 濃度の活魚測定方法の開発, 第 22 回「環境放射能」研究会, 2021 年 3 月.
[3] 中里亮治・樽井美香・近藤陸人・斉藤智幸・神成田優花・碓井星二・苅部甚一・加藤健一・佐藤忠明・鈴木仁根, 帰還困難区域に生息する溪流魚の 137Cs 濃度の推移, 第 55 回日本水環境学会年会, 2021 年 3 月.
[4] 樽井美香・神成田優花・岩瀬 広・碓井星二・中里亮治, GM 管を用いた携帯型溪流魚用放射性セシウム測定器の開発, 第 9 回環境放射能除染研究発表会, 2020 年 9 月.
[5] 近藤陸人・神成田優花・樽井美香・斉藤智幸・岩瀬 広・碓井星二・中里亮治, 帰還困難区域の山地溪流に生息するヤマメ・イワナを対象にした小型 CsI (Tl) シンチレーション検出器を用いた Cs-137 濃度の活魚測定方法の開発, 第 9 回環境放射能除染研究発表会, 2020 年 9 月.
[6] 中里亮治・樽井美香・碓井星二・神成田優花・近藤陸人・斉藤智幸・苅部甚一・加藤健一・佐藤忠明・鈴木仁根, 2015 年から 2020 年までの帰還困難区域の山地溪流に生息するヤマメ・イワナの Cs-137 濃度の推移, 第 9 回環境放射能除染研究発表会, 2020 年 9 月.
[7] 斉藤智幸・近藤陸人・苅部甚一・樽井美香・中里亮治, 帰還困難区域の溪畔林から採取した導管水の Cs-137 濃度について, 第 9 回環境放射能除染研究発表会, 2020 年 9 月.

表彰

- [1] 環境放射能除染学会第 9 回研究発表会優秀ポスター賞, 斉藤智幸 (指導教員: 中里亮治), 2020 年 9 月, 一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会 (通称: 環境放射能除染学会), 帰還困難区域の溪畔林から採取した導管水の Cs-137 について, 著者: 斉藤智幸・近藤陸人・苅部甚一・樽井美香・中里亮治.